

動物フェスティバルの報告

1月24日曜日、寒川中央公園にて、寒川、茅ヶ崎動物フェスティバルが開催され、救護の会もブースを出展しました。

広い芝生の広場を囲むように舗装路があり、その道に沿ってテントが並んでました。背面に広がる芝生広場は、休日には沢山の人で賑わうとのことから、正面の舗装路側は、海ごみをメインにパネルを、ブース裏側には、バードストライクのパネルを並べ、表裏、両方向からパネルを見ることができる展示を試みました。動物フェスティバルだけあって、動物に興味のある方が多いのか、

朝から機嫌のよかったオオコノハズクのコノハに、チョウゲンボウのステラは今日のイベントでも大人気で人だかりを作ります。

話を聞くだけではなく、実際に保護経験がある方や、巣から落ちた雛の対処方法、傷病動物の保護後の連絡場所がわからなかった、など、野生動物を身近に感じ、とても興味をお持ちの方が多かったように感じました。パネルの両面作戦？が項を奏したのか、ちらし配りが上手だったのか、イベント終了前にちらしは無くなりましたが、その後も人は途切れませんでした。

動物たちの傷つく原因などが両面印刷されたちらしは、たくさんの子供達にも配りました。

家に持ち帰りご家族と一緒に見て考えてもらえることを願いながら、今年最後のイベントを終えました。

森紀美子



